

あいち農産物生産流通レポート

平成31年1月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 華麗な花びら「かがり弁」の輪ぎく新品種を開発 (農業総合試験場)	1
◎ 東日本情報	
・ 世界一濃い抹茶ジェラート (東京事務所)	3
◎ 西日本情報	
・ 平成30年度あいち食育いきいきシンポジウムを開催しました (食育消費流通課)	5
・ いいともあいち運動推進20周年記念表彰式を開催しました (食育消費流通課)	6
◎ フラワーページ	
・ 「あいち花フェスタ2018inデンパーク」を開催しました (園芸農産課)	7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	11
・ 名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し	12
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の1月の見通し(県内市場)	24

※今月、「地域トピックス」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

華麗な花びら「かがり弁」の輪ぎく新品種を開発

農業総合試験場

本県は全国一の輪ぎく生産県であり、出荷本数は全国の約半分を占めています。輪ぎくは主に葬儀用、仏花用に利用されていますが、近年は葬儀形態の変化により需要が減少傾向にあります。そこで、ブライダルなどの祝い事やフラワーアレンジメントにも利用可能な、新奇性の高い品種の開発に取り組みました。その結果、華麗な花びらが特長の「かがり弁」の3品種を開発したので紹介します。

1 育成の過程

2005年に県所有の輪ぎく系統間で交配を行い、外側の花びらのみが先端に複数の突起がある「かがり弁」となった極淡ピンク色の系統を選抜しました。この系統を材料に、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「量研」という。）において形質の変化を効率的に起こすイオンビームの照射を行い、得られた株の中から、中央の花びらまで「かがり弁」となった系統を選抜しました。さらに、イオンビーム照射または県所有の黄色輪ぎく系統との交配を行い、得られた株の中から白色、赤紫色及び黄色の3系統を選抜しました。

県内の輪ぎく生産者により、これらの試作を行った結果、通常の輪ぎく品種と同様の栽培が可能であることがわかりました（表1）。また、全国の主要花き市場からは、珍しい花びら形状で高い商品性を持っていると評価されました（表2）。そこで、2017年11月に品種登録出願を行い、2018年2月に出願公表されました。



「かがり弁」の3品種

左上：「かがり弁黄」、右上：「かがり弁白」、
下：「かがり弁赤紫」

表1 かがり弁3品種の現地適応性試験結果（2016年2月開花作型、豊川市）

名称	到花日数	草丈(cm)	かがり弁の発生程度	葉の障害	やなぎ芽の発生	下葉の枯れ	病害虫の発生
かがり弁白	52	83	良い	なし	なし	なし	なし
かがり弁赤紫	54	73	良い	なし	なし	なし	なし
かがり弁黄	57	103	良い	なし	なし	なし	なし
早生神馬	50	81	なし	なし	なし	なし	なし

注) 栽培概要 定植2015年10月21日、摘心11月5日、電照打ち切り1月1日

最低夜温：電照打ち切り前14℃、以後3週間18℃、その後開花まで14℃

到花日数は、かがり弁系統は外側舌状花2-3列が完全に伸長した日、対照品種は通常の輪ギク収穫適期に達した日

表2 市場性評価における主な意見

市場キク 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい菊として差別化して販売できそう。 ・目を引く商材として期待できる。 ・祝い事、婚礼などにも使用できる可能性がある。
-------------	---

2 品種の特長

花びらの先端に複数の大きな突起をつけることが最大の特長です。華麗な雰囲気があるため、ブライダルなどの祝い事やフラワーアレンジメントに利用することができます。満開時の花径は、「かがり弁白」及び「かがり弁黄」が約13cm、「かがり弁赤紫」が約11cmになります。花びらは内側にはカーブせず、真っ直ぐに伸長します。日持ちは通常の輪ぎく品種と同等で、2週間以上観賞することができます。



花弁の形状

左から「早生神馬」、「かがり弁白」、「かがり弁黄」、「かがり弁赤紫」

3 栽培・出荷における留意点

施設内での栽培に向きます。花びらの形状と色が最も美しくなる12月～3月の出荷作型が適しています。わき芽を有する品種で、摘芽作業が必要です。

「かがり弁黄」は他の2品種よりも開花が遅い傾向があります。3品種を同時に開花させるためには、電照打ち切り前に「かがり弁黄」のみ夜間に遮光フィルムを使って被覆し、開花を調整します。

収穫適期は、外側の花びらが1列開いた時期から、花全体の半分程度の花びらが開いた時期までとなります。輸送中の花びらの傷みを防ぐため、3品種共にスリーブ等の保護資材を使用することを推奨します。なお、「かがり弁」品種の栽培・出荷マニュアルを作成し、今年度中に生産者へ配布予定です。



収穫適期の花の状態

4 おわりに

「かがり弁白」は、ジャパンフラワーセレクション 2018-2019 においてベストフラワー（優秀賞）、ブリーディング特別賞、ニュースタイル特別賞を受賞しました。

今後も関東東海花の展覧会など様々なイベントでPRを予定しており、祝い事等での需要が創出されることを期待します。



ブライダルへの使用例

(写真提供：JAひまわり菊部会)

【本品種は愛知県と量研との共同開発品種です】

世界一濃い抹茶ジェラート

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

東京浅草の茶卸売会社である「浅草 壽々喜園(スズキエン)」では、店舗内に設置された軽食コーナーで、SNS等で世界一濃いと話題の「藤枝抹茶ジェラート No.7 (以下、No.7)」が販売されています。浅草の主要観光地から離れた立地にもかかわらず認知度は高く、国内外問わず観光客が訪れる人気店となっています。No.7作成の経緯とそれがもたらす効果について紹介します。

1 7種の抹茶ジェラート

ショーケースには、静岡県藤枝市の「ななや」と開発した抹茶ジェラートが、抹茶の濃さによりNo.1からNo.7まで並びます。それぞれには市販の濃さ(No.1)、大人の味(No.4)などの説明が付けられ、客の選択を助けています。

売れ筋は、多くの客が来店目的とする『世界一濃い抹茶ジェラート』No.7で、次いで対照的な濃さのNo.1が人気のようです。両端に人気が集中していますが、No.2～6についても需要があり、「世界一濃い」だけではなく、「選択」や「グラデーション」を楽しめることが、来店者数を増やす一つの要因となっています。

また、シングルではなくダブルを購入する客も少なくなく、食べ比べも大きな魅力となっているようです。



- No.1 : 市販の抹茶アイスと同等の濃さ
- No.2 : ほんのり香る本格抹茶
- No.3 : ミルクと抹茶のバランスとれた味
- No.4 : 抹茶の渋みを感じる大人の味わい
- No.5 : "ガツン"とくる抹茶の渋み
- No.6 : 「ここまでやるか」という抹茶の風味
- No.7 : 農水大臣賞受賞茶園の高級抹茶使用

7種の抹茶ジェラート（下段）と紹介文

2 客が定着させた「世界一」

壽々喜園自体は、商品名に「世界一」の言葉を使っていません。『世界一濃い抹茶ジェラート』という表現は通称で、商品名「藤枝抹茶ジェラートNo.7」に「世界一濃い」という客の評価を合わせたものとなります。

発売当初は3種のみで始めた抹茶ジェラートですが、濃い方がよく売れたことから次々とより濃いものが作られました。結果的に客の好みに合わせた選択肢が増え、また写真映えのする「緑のグラデーション」が生まれたことで、SNSを通じた認知度や来客数の増加に繋がり、客の発信した「世界一」というイメージが広く拡散し、定着しています。



抹茶とほうじ茶のダブル

3 No.7だけが武器ではない

現在、壽々喜園では、抹茶7種に加えて、ほうじ茶、玄米茶、和紅茶、季節限定品等の商品が店頭で並んでおり、抹茶については市販品に近い受け入れやすい薄い味から、日本人でも驚くような濃いジェラートが揃えられています。

仮に同業他社が更に濃い抹茶ジェラートを開発しても、集客効果やSNS的な魅力は7種のバリエーションがある壽々喜園のジェラートほど大きくはないと思われ、今から多くのバリエーションを揃えることも労力面や機材調達等の資金面で大きなリスクとなります。また、同業他社が新たな世界一を作っても、先行する壽々喜園は更に濃いNo.8、No.9と話題性の高い対抗商品の開発が可能で、すでに豊富なバリエーションを揃えていることが、販売戦略上の大きな武器になっていると考えられます。

牽引役・看板商品であるNo.7が、売上面や情報発信（広告）面で旗艦商品であることは間違いありません。しかしNo.1～6が回りを固めることで、No.7の抹茶の濃さを他社製品以上に印象づけており、その結果、「世界一濃いNo.7」が売上を伸ばし、他の商品を牽引する旗艦商品としての役割を果たしていると感じられました。



ほのかな風味のNo.1、ほんのり香るNo.2

4 看板商品と品揃えの相乗効果

壽々喜園の抹茶ジェラートは、食味に加えて、「世界一濃い」という評判や7種類の商品を揃えた写真映えから、多くのSNS等でも取り上げられ、人気を集めています。

今回の事例では、①競合商品と明確な違いを示す牽引役・看板商品の存在に加え、②客が商品選択や写真映えを楽しむことができる品揃えや、③商品の違いをわかりやすく説明する紹介文や売り文句による相乗効果が、各商品の魅力や情報発信力をより高めていると思われました。

なお、現在壽々喜園には、海外から多くの観光客が来店されています。ジェラートという海外でも馴染みのあるスイーツが、抹茶や日本茶の魅力を全世界に伝える一役を担うことを願ってやみません。



壽々喜園店舗



店内で販売される抹茶



西尾産抹茶も販売

平成 30 年度あいち食育いきいきシンポジウム
「もっと知って 楽しく おいしく たくさん食べよう あいちの野菜」
を開催しました

食育消費流通課

県は食育の観点から、毎日の食生活に欠くことのできない食材である野菜について、もっと身近に感じ、摂取の必要性の理解を深めるとともに、県産農産物に対する県民意識を高めるきっかけとするため、11月29日（木）に名古屋市内で、シンポジウムを開催しました。

当日は、食育・野菜摂取に関心の高い県民や、地域で食育活動に取り組んでいる県民、教育関係者、食生活改善推進員、各種団体、行政等から172名もの多くの方に参加いただきました。



シンポジウム会場の様子

1 野菜に対する興味・関心、摂取の必要性への理解を高める講演

基調講演では、恵泉女学園大学の藤田智教授から、ユーモアを織り交ぜながら、野菜の素晴らしさ、野菜作りを通じた心、交流の在り方などについて解説をいただきました。特に「大地を育てることは、人の心を耕すことだ！！」との熱い思いは、参加者全員の心に響きました。

次に、愛知学院大学の酒井映子教授から栄養学の見地から健康的な食生活について、多くのデータを用いて分かりやすく講演いただき、「食事はバランスと何よりも楽しんで食することが大切である」ことが十分理解できました。



藤田智教授による基調講演

2 あいちの農産物への理解促進及び消費段階の実践を促す取組の事例発表

愛知県農業協同組合中央会からは、地域に根ざした食と農の大切さを伝えるJAグループの様々な取組を紹介いただきました。また、田原市からは、地域の食生活の現状を踏まえ、地元農産物を家庭でおいしく食べてもらうために、地域の食育組織と協働して作成したレシピについて発表いただき、県産農産物の理解促進に向けて大きく役立つ内容となりました。

当日は、質疑応答も活発に行われ、参加者からは「野菜を作ること、食べることの良さが改めて分かった」、「今後の活動に役立てたい」など多くの声が寄せられました。

このシンポジウムの内容が、参加者を中心に家庭や地域において多くの県民に伝わり、毎日の食生活で実践され、本県食育の目指す「健康で活力のある社会の実現」につながることを期待します。

いいともあいち運動推進 20 周年記念表彰式を開催しました



食育消費流通課

いいともあいち運動の 20 周年にあたり 12 月 13 日（木）に、愛知県庁本庁舎 6 階の正庁において、いいともあいち運動推進 20 周年記念表彰式を開催し、運動の活動主体である、いいともあいちネットワーク会員のうち他の模範となる 30 団体に、感謝状を贈呈しました。

1 いいともあいち運動の歩み

県では、地産地消の取組や農林水産業の振興、農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、平成 10 年度から、消費者と生産者が一緒になって本県の農林水産業を支える「いいともあいち運動」を推進しています。この運動は、生産から消費に至るさまざまな立場の機関、団体、業界等がそれぞれの役割を活かしつつ、各地域でお互いが連携・協力しながら取組を進めてきました。



運動のシンボルマーク

2 いいともあいち運動取組の経過

- ・ シンボルマークの作成 [H10]
- ・ ネットワークの構築 [H12～] 【1, 588 会員】
- ・ 推進店の登録推進 [H16～] 【1, 134 店舗】
- ・ 商品へのシンボルマークの表示 [H20～] 【800 商品】
- ・ キャンペーン月間（11 月）の取組強化
- ・ 地産地消推進研修会・交流会や農商工連携ビジネスフェア等の開催 [H20～]
- ・ いいともあいちサポーターの登録 [H25～] 【389 人】
- ・ シンボルマークの愛称を「あいまる」に決定 [H28]

※【 】内は H30. 11 月末現在



いいともあいち運動

3 いいともあいち運動推進 20 周年記念表彰式

運動の推進に当たっては、生産・流通・消費にわたる様々な関係者がいいともあいちネットワークの会員となり、相互に連携・協働して、安全で新鮮な農林水産物の供給と消費や、消費者と生産者の交流に努めています。

この度、こうした活動を進める優良な団体の功績を称え、いいともあいち運動推進 20 周年を記念し、知事から感謝状を贈呈しました。



記念撮影

「あいち花フェスタ2018 in デンパーク」を開催しました

園芸農産課



「あいち花フェスタ」は全国一の花き生産を誇る「花の王国あいち」をPRし、花に親しみ、花のある暮らしを提案する県民参加型のイベントで、平成24年度から開催しています。6回目となる本年度は安城市で開催しました。

1 開催概要

(1) 主催

あいち花フェスタ2018実行委員会

構成：愛知県、安城市、JAグループ愛知（中央会・連合会）、あいち中央農業協同組合、愛知県花き温室園芸組合連合会、西三河花き温室園芸組合連合会、安城市温室園芸組合、公益財団法人安城都市農業振興協会

(2) 期日・場所

・プレステージ

期日：平成30年11月10日（土）・11日（日）

場所：JAあいち中央 総合センター及び安城産業文化公園デンパーク
（「JAあいち中央 JAまつり」に併せて開催）

・メインステージ

期日：平成30年11月22日（木）から25日（日）まで

場所：安城産業文化公園デンパーク

2 主な内容

(1) 展示

ア メインモニュメント



メインモニュメント「宙に咲く巨大な花」

イ 生産者団体等によるディスプレイ



安城市温室園芸組合



愛知県花き連花きPR部会



愛知県花き連カーネーション部会



碧南市 K. I. ローズ



愛知県立安城農林高等学校



愛知県立猿投農林高等学校



愛知県立農業大学校



温室内の様子



安城市立安城西部小学校の児童が制作した寄せ植え

ウ 品評会展示

(あいちフラワーコンテスト)

県内の花き生産者が育てた切花・鉢物343点が出品され、きくの部、ばら・洋花の部、観葉植物の部など、各部門での審査が行われました。

品評会では、出展された切花・鉢物が会場内で一堂に展示されました。



あいちフラワーコンテスト出展物

(2) 催事

ア 「花りんピック」の開催

花とスポーツの秋に絡めて、大人も子供も本気で遊ぶコンテンツを開催しました。得点に応じて花がもらえる「花スポーツ」、デンパーク園内を巡ってゴールすると、ピクトリーブーケを持って写真が撮れる「花りんピックスタンプラリー」、小学生によるブーケ作り大会などの参加型ステージイベント「花りんピック競技」など、大人から子どもまでファミリーで楽しんでもらいました。



「花りんピック」の様子

イ ステージイベント

小学生によるブーケ作り大会や間伐材の早づみ大会を始めとした「花りんピック競技」のほか、いけばなのデモンストレーションや花男子プロジェクトによる花贈り、キッズダンス、太鼓演舞等のステージイベントを実施しました。



花贈りイベント

ウ その他の催事



お花の体験教室

初心者や子供でも楽しめる体験教室を7回開催しました。



花の栽培施設を巡るツアー

専用バスで生産者のほ場を訪問して見学しました。



花と地元特産品の産直コーナー

地元の花き生産者やJAなどによる地元特産品等の即売を行いました。



「西三河グルメ祭り」

西三河地域の人気店やいいともあいち会員の飲食ブースが14店出店しました。

3 開催結果

(1) 来場者数

65,592人

(プレステージ 28,000人、メインステージ 37,592人)

(2) 主な感想

来場者からは、「デンパークと花フェスタのコラボで花がいっぱいできれいだった」、「家族で楽しめた」、「写真スポットがたくさんあった」などの感想が聞かれ、花を身近に感じ、暮らしに花を取り入れていただくきっかけとなりました。

また、生産者にとっても、自ら生産した花を工夫してきれいに飾ったり、即売コーナーでお客さんと対話したりするなど、勉強になったとの声が聞かれました。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：こまつな）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
30年実績	3,001	425 (14%)	454	茨城 (43%) 岐阜 (23%) 静岡 (8%)
31年見通し	3,150	—	400	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知は10、11月の好天に恵まれ、生育がかなり前進したほか、茨城などの他産地も入荷が多く、11月中旬から大幅な入荷増の単価安となった。12月後半は入荷量がやや落ち着き、単価も回復傾向となっている。年明け後は、周年栽培の入荷もあるため、大きな減とはならないものの、入荷が前倒しされた結果、中旬頃から平年より少ない数量で推移するとみられる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>		<p>愛知産が減少している一方で、茨城などの周年栽培の入荷が増え、市場全体の入荷量はやや増加傾向にあるが、地産地消の観点から地場産物への需要は強い。高齢化など難しい問題もあるが、今後も栽培面積の維持と安定した出荷をお願いしたい。 また、品物については、引き続き残留農薬に留意した栽培をお願いしたい。 ※平成30年11月、12月は実績が出ていないため、平成29年11月、12月実績を参考として計算した数値を平成30年実績として標記しております。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
30年実績	9,393	639 (7%)	278	長野 (43%) 静岡 (25%) 福岡 (9%)
31年見通し	10,000	—	240	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>秋から続く好天と高温により生育・肥大は例年になく順調。加えて熊本や岩手などでは栽培面積拡大の動きも見られる。11月末頃より入荷量が増加し、12月に入り極端に単価を下げている。今後も好天、暖冬が続けば豊作基調となり厳しい販売も予想されるが、1月の荷動き次第で下げ止まりの展開もあるか。この状況が続く場合、入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>		<p>本年産は好天により生育順調ではあるが、入荷量が多く品質面でのマイナスは容易に単価に響く。これまでどおり徹底した管理で、品質及び出荷量を維持してもらいたい。 前年は産地リレーがうまくいき、他の野菜が乱高下する中、250~300円/kgの範囲で比較的安定した販売ができた。本年も引き続き日量格差の少ない安定した出荷と販促の実施が望まれる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

12月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	26年	30,561	229	279	220	220	北海道 25%
	27年	30,626	238	291	226	214	愛知 24%
	28年	30,733	218	245	200	220	茨城 10%
	29年	30,864	235	261	225	218	熊本 4%
	30年	28,157	290	365	271	261	兵庫 4%
	5ヵ年平均	30,188	242	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	28,800	235	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、愛知、茨城などが中心となる。10月以降の好天と暖冬から、全体的に潤沢な予想も、愛知はキャベツ等の品目で台風被害による入荷減を見込む。また、北海道の土物も天候不順で少ない見通し。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
だいこん	26年	1,833	79	85	75	80	千葉 29%
	27年	1,653	81	89	75	88	静岡 26%
	28年	1,667	64	62	57	80	愛知 19%
	29年	1,733	80	90	78	82	神奈川 8%
	30年	1,442	183	217	205	142	鹿児島 7%
	5ヵ年平均	1,666	95	105	95	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,700	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、千葉、徳島、愛知などから入荷する。各産地とも天候に恵まれ順調で、大玉傾向。前進出荷しているが、作況は良好で1月も平年並の入荷を見込む。一方で価格は安値が続くとみられる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
にんじん	26年	2,059	128	151	131	119	愛知 89%
	27年	2,103	77	103	77	67	千葉 3%
	28年	1,938	85	99	82	85	北海道 3%
	29年	1,882	130	136	129	130	鹿児島 2%
	30年	1,509	182	172	194	172	長崎 1%
	5ヵ年平均	1,898	117	130	119	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,800	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に入荷する。愛知は台風被害で、12月前半の入荷が少ない。好天と暖冬で前進・大玉傾向だが、1月も平年並までの増量はない見込み。他産地は順調なことから、前年のような高値とはならないか。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大きく下回る見込み。</p>					

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	122,239	242	273	231	232	茨城 17%
	27年	121,775	257	300	238	242	千葉 16%
	28年	120,420	238	250	218	245	北海道 13%
	29年	123,907	252	276	242	246	愛知 9%
	30年	108,242	321	385	300	297	神奈川 7%
	5ヵ年平均	119,317	261	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	120,000	220	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。秋から年末にかけての好天により台風被害の影響は一掃され、全体的に堅調な入荷が見込まれる。極端な寒気などがなければ大きな変動もない見通し。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
だいこん	26年	13,506	78	90	72	73	神奈川 58%
	27年	13,239	85	87	73	91	千葉 35%
	28年	12,970	58	55	47	69	鹿児島 2%
	29年	13,153	81	90	73	81	徳島 2%
	30年	9,325	193	222	203	157	香川 1%
	5ヵ年平均	12,439	93	81	66	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	12,000	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>神奈川、千葉からの入荷が中心となる。秋の好天に加えて適度な雨もあり、肥大状況は良好。気温高も手伝って前進傾向の産地も多く、産地間の端境なく潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年の半値以下と大幅に下回る見込み。</p>					
にんじん	26年	6,557	143	159	143	133	千葉 79%
	27年	7,144	80	90	77	75	埼玉 7%
	28年	7,427	79	84	76	79	茨城 6%
	29年	6,787	155	152	155	155	中国 2%
	30年	6,012	154	140	150	169	鹿児島 2%
	5ヵ年平均	6,785	120	123	118	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	6,800	110	100	110	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に埼玉などから入荷する。各産地とも肥大良好で太物が多く、安定した入荷となる。後半は入荷が落ち着き、価格も上がると見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回るものの平年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

12月14日現在

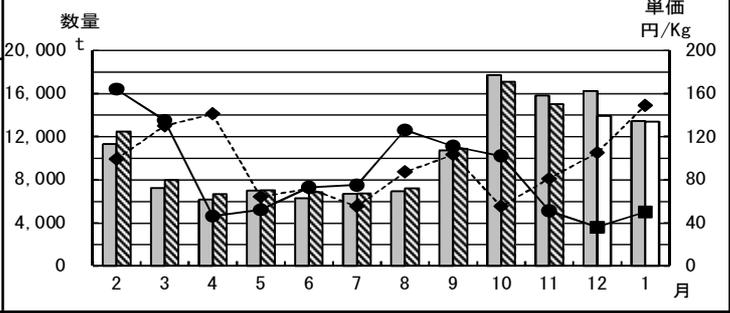
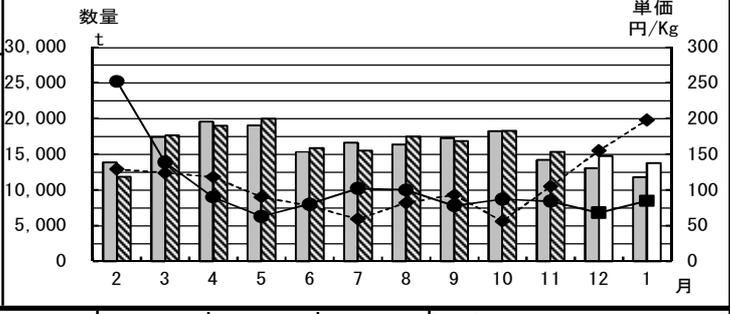
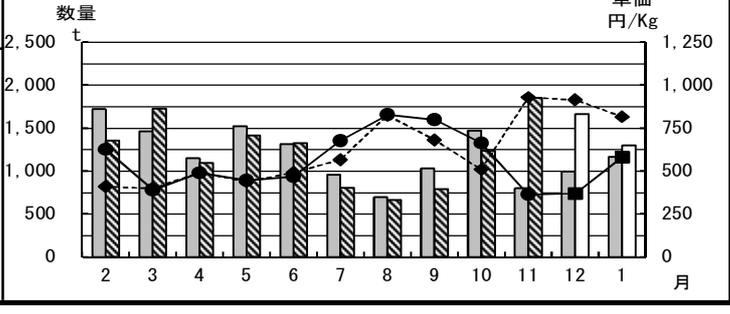
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	2,350	70	82	68	67	茨城 59%
	27年	2,496	55	59	50	60	兵庫 19%
	28年	2,387	63	61	53	77	愛知 15%
	29年	2,430	101	116	102	92	宮崎 4%
	30年	2,875	170	188	166	163	三重 3%
	5ヵ年平均	2,508	95	104	91	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	2,600	70	70	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫、愛知を中心に入荷する。各産地とも10,11月の天候に恵まれ前進傾向。愛知も台風被害から回復し平年並の入荷を見込む。また、前年の高値から兵庫が作付けを増やし、前年より増量する予想。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>茨城、兵庫、愛知を中心に入荷する。各産地とも10,11月の天候に恵まれ前進傾向。愛知も台風被害から回復し平年並の入荷を見込む。また、前年の高値から兵庫が作付けを増やし、前年より増量する予想。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
キヤベツ	26年	2,910	136	152	132	131	愛知 85%
	27年	2,990	107	113	109	103	茨城 9%
	28年	3,806	56	45	56	65	中国 2%
	29年	3,224	100	102	99	97	滋賀 1%
	30年	2,728	178	258	179	143	兵庫 1%
	5ヵ年平均	3,132	111	127	111	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	2,700	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に入荷する。愛知は台風被害からある程度回復したが、春系が遅れる。全体でも1月入荷量は平年より少ないか。茨城は順調な入荷見込み。業務向けの輸入品も多く、荷動きは悪いとみられる。入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>愛知を中心に入荷する。愛知は台風被害からある程度回復したが、春系が遅れる。全体でも1月入荷量は平年より少ないか。茨城は順調な入荷見込み。業務向けの輸入品も多く、荷動きは悪いとみられる。入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ほうれんそう	26年	314	571	603	570	599	愛知 59%
	27年	300	606	727	597	589	茨城 18%
	28年	305	538	497	488	690	群馬 7%
	29年	362	486	416	495	529	福岡 4%
	30年	196	906	1,047	849	887	岐阜 4%
	5ヵ年平均	295	595	619	577	637	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	300	500	500	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に入荷する。愛知は前進出荷されたため、1月は入荷減の予想だが、生育スパンも短く、若干減程度とみられる。他産地も前進傾向。低温期もあり下旬頃には数量が少なくなる見通し。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>愛知を中心に入荷する。愛知は前進出荷されたため、1月は入荷減の予想だが、生育スパンも短く、若干減程度とみられる。他産地も前進傾向。低温期もあり下旬頃には数量が少なくなる見通し。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	14,528	62	69	63	56	茨城 88%
	27年	12,797	40	42	35	43	群馬 5%
	28年	12,573	46	42	38	57	兵庫 3%
	29年	13,811	93	101	96	86	埼玉 3%
	30年	13,431	149	146	147	153	愛知 1%
	5ヵ年平均	13,428	79	81	77	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	13,400	50	50	50		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。秋の好天と高温により肥大状況はよく、潤沢な入荷となる見込み。一方で、暖冬により害虫の発生が多く、今後の生育への影響に懸念が残る。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					 <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の月別推移。数量は2月約12,000t、10月ピーク約17,000t。単価は2月約160円/kg、10月約100円/kg。</p>
キャベツ	26年	12,674	138	149	134	135	愛知 58%
	27年	13,026	121	124	117	112	千葉 19%
	28年	15,016	59	49	60	64	神奈川 15%
	29年	14,792	106	107	102	109	茨城 5%
	30年	11,821	198	248	192	171	中国 2%
	5ヵ年平均	13,466	121	130	117	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	13,800	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。秋口の台風被害による端境期発生の懸念はほぼ解消された。悪天候などによる多少の増減は予想されるも、基本的に安定した入荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					 <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の月別推移。数量は2月約13,000t、4月ピーク約20,000t。単価は2月約250円/kg、4月約100円/kg。</p>
ほうれんそう	26年	1,518	535	581	533	508	群馬 33%
	27年	1,610	597	762	555	533	茨城 32%
	28年	1,378	544	497	446	696	埼玉 15%
	29年	1,621	458	467	433	479	千葉 11%
	30年	1,164	815	1,045	718	769	栃木 6%
	5ヵ年平均	1,458	578	654	529	584	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,300	580	580	580	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。秋の好天で生育は前進化。年内に前倒し出荷が進んだため、年明けは一時的な減少も予想される。その後は屋根かけ栽培作型からの安定した入荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					 <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の月別推移。数量は2月約1,500t、11月ピーク約1,800t。単価は2月約750円/kg、11月約1,000円/kg。</p>

名古屋市中央卸売市場

12月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	26年	995	362	434	355	333	静岡	23%
	27年	998	352	448	332	318	大分	20%
	28年	972	378	436	341	394	群馬	11%
	29年	995	424	473	439	385	愛知	10%
	30年	844	498	557	523	460	秋田	6%
	5ヵ年平均	961	400	467	394	375	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	31年見通し	900	425	450	420	405		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、大分、群馬、愛知などの各地から入荷する。全体的には順調な入荷を見込むが、愛知は越津ねぎの増量ペースが遅い。白ねぎも現状入荷が少なく、1月には回復を見込むものの、平年並には至らないか。入荷量はかなり上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見通し。</p>						
しそ	26年	1,586	288	324	266	283	兵庫	41%
	27年	1,770	312	385	281	276	愛知	14%
	28年	1,323	285	293	266	303	熊本	13%
	29年	1,576	228	203	217	267	長崎	12%
	30年	1,136	446	646	393	339	静岡	10%
	5ヵ年平均	1,478	305	357	279	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	31年見通し	1,350	250	220	250	280		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫、愛知、熊本などから入荷する。各産地とも暖冬のため大幅に前進しており、玉も大玉傾向。愛知は前倒し出荷のため、1月入荷量は若干減る見込み。全国的にも気温が低下する下旬は入荷減となるか。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
きゅうり	26年	1,364	337	345	334	355	愛知	55%
	27年	1,208	388	416	364	403	宮崎	18%
	28年	2,316	221	166	233	276	高知	17%
	29年	1,189	368	369	367	368	鹿児島	10%
	30年	1,198	424	414	426	432		
	5ヵ年平均	1,455	328	315	327	353	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	31年見通し	1,200	390	390	390	390		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に宮崎、高知、鹿児島から入荷する。愛知はここまで潤沢な入荷で、1月も平年並の入荷量を見込む。西南暖地も平年並の入荷見通しで、下旬には節分による需要増が見込まれる。入荷量は前年並で、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	5,833	290	358	277	252	千葉 33%
	27年	5,708	300	361	272	275	埼玉 20%
	28年	5,550	337	395	301	331	茨城 17%
	29年	5,559	365	391	28	313	群馬 9%
	30年	4,940	424	498	389	409	栃木 5%
	5ヵ年平均	5,518	341	398	251	313	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	5,300	300	330	290	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉県、埼玉県など関東産地からの入荷が中心となる。遅れていた生育は回復し、各産地とも太物傾向。地域によっては害虫が多く、今後の生育への影響が心配されるが、概ね順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
しそ	26年	6,757	294	329	270	284	静岡 32%
	27年	7,212	328	413	285	290	長崎 13%
	28年	6,613	274	274	253	293	千葉 10%
	29年	7,889	219	197	208	253	兵庫 9%
	30年	5,144	450	681	400	330	香川 8%
	5ヵ年平均	6,723	304	359	275	287	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	6,000	200	150	170	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、長崎、香川などからの入荷が中心となる。各産地とも高温により生育が前進し、出荷が前倒しされており、中旬以降は端境ができ入荷が減少する見通し。一時的だが価格の回復も見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年、平年ともに大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	26年	5,090	370	365	380	367	宮崎 41%
	27年	4,961	432	457	412	426	千葉 19%
	28年	4,639	454	373	439	548	高知 18%
	29年	4,911	393	393	400	389	茨城 7%
	30年	4,720	462	432	478	475	群馬 5%
	5ヵ年平均	4,864	421	404	421	439	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	4,700	400	380	390	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、千葉、高知からの入荷が中心となる。12月は品薄から極端な高騰を見せたが年明けは落ち着きを見せる。各産地の予測はまちまちだが、概ね平年並の入荷となり価格も徐々に上向くと見込まれる。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

12月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	449	351	368	354	342	愛知 47%
	27年	419	411	417	409	416	熊本 47%
	28年	289	463	349	468	587	高知 6%
	29年	377	394	366	388	426	
	30年	390	444	452	441	444	
	5ヵ年平均	385	408	392	407	432	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	395	390	380	390	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、熊本を中心に入荷する。愛知は天候に恵まれ、順調な入荷が続く。病虫害もなく品質良好。熊本の長なすも潤沢な入荷となっている。年末年始の休みもあり、年明けから潤沢な入荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ト マ ト	26年	927	322	325	314	331	熊本 51%
	27年	985	347	330	339	371	愛知 28%
	28年	867	444	372	429	541	三重 12%
	29年	976	384	406	377	376	岐阜 9%
	30年	1,186	352	423	347	297	
	5ヵ年平均	988	368	374	360	377	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,000	360	360	360	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知、三重、岐阜が中心となる。各産地とも順調な入荷見込みで、年末年始を挟んだ年明けは潤沢な入荷予想。中旬までは大玉傾向だが、下旬からは成り疲れ等もあり、入荷減となるか。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	26年	379	618	584	607	640	熊本 53%
	27年	364	715	654	710	767	愛知 32%
	28年	369	808	789	752	890	宮崎 7%
	29年	390	779	823	753	787	和歌山 7%
	30年	389	756	730	767	787	長野 1%
	5ヵ年平均	378	735	717	718	774	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	390	650	600	650	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知を中心に入荷する。暖冬により12月前半は入荷量が大幅に増加した。各産地とも着果状況は良好で、1月も中旬まではかなりの数量が出る見通し。下旬からはトマト同様に入荷が落ち着くか。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	26年	2,398	388	399	390	377	高知 68%
	27年	2,083	461	478	427	465	福岡 14%
	28年	1,613	544	429	598	619	熊本 7%
	29年	2,030	441	413	446	463	佐賀 4%
	30年	2,130	460	431	475	476	栃木 2%
	5ヵ年平均	2,051	453	429	459	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	2,000	450	450	450		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>高知、福岡、熊本などからの入荷が中心となる。直近12月の日照不足と低温により生育はやや不良となっている。花落ちに加えて病害虫の発生も見られ、入荷量は減少しないまでも増えることもないか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						
マ	26年	5,223	356	365	348	354	熊本 47%
	27年	5,272	384	366	375	407	栃木 15%
	28年	4,768	473	412	459	552	愛知 14%
	29年	5,223	424	414	413	421	千葉 5%
	30年	5,692	397	465	473	478	静岡 5%
	5ヵ年平均	5,236	405	405	414	441	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	5,400	350	350	350		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。産地では順調な着果がみられ、今後も安定した入荷が続くと見込まれる。前年と異なり年末の急騰は回避したが、厳寒期に向け価格を徐々に上げたい場面となる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
ミ	26年	1,651	563	560	546	583	熊本 38%
	27年	1,459	695	632	708	752	愛知 20%
	28年	1,499	782	763	739	844	宮崎 18%
	29年	1,571	754	804	716	744	千葉 7%
	30年	1,615	724	706	724	746	静岡 7%
	5ヵ年平均	1,559	702	692	685	731	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,650	710	700	700	730	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。主要産地の作型では上旬にピークを迎えその後は緩やかに減少となるが、作付増により大きな変動はなく、安定した入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

12月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	401	604	541	599	674	鹿児島 56%
	27年	468	658	684	639	685	宮崎 34%
	28年	417	573	497	572	721	高知 11%
	29年	493	499	405	520	581	
	30年	408	689	598	687	731	
	5ヵ年平均	437	602	543	601	675	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	410	600	600	700	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎、高知から入荷する。10, 11月の日照に恵まれ、例年になく多い入荷量で推移したが、12月中旬から成り疲れ傾向がみられる。1月は気温低下もあり、入荷は徐々に落ち着く見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
白菜	26年	2,804	105	108	105	106	北海道 65%
	27年	3,029	102	99	101	105	長崎 28%
	28年	2,746	122	109	117	133	鹿児島 7%
	29年	2,388	202	192	198	210	
	30年	2,614	123	102	122	133	
	5ヵ年平均	2,716	128	120	126	135	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	2,500	125	125	125	125	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に長崎、鹿児島から入荷する。北海道の貯蔵物は、天候不順による不作のため入荷が少ない見通し。長崎、鹿児島は台風被害も少なく生育良好で、順調な入荷を見込む。玉も大玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
たまねぎ	26年	5,008	114	102	139	124	北海道 99%
	27年	4,792	85	89	95	81	静岡 1%
	28年	5,493	71	70	70	76	
	29年	6,407	80	78	81	80	
	30年	5,146	96	101	95	96	
	5ヵ年平均	5,369	88	87	95	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	5,000	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道主体で静岡からも一部入荷する。北海道が不作のため入荷減となり、価格は高値推移している。玉はLからL大中心。静岡は生育順調で、初売りから順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	1,340	633	531	668	685	宮崎 49%
	27年	1,405	669	703	626	684	高知 22%
	28年	1,348	642	542	557	736	鹿児島 16%
	29年	1,539	549	474	549	608	茨城 12%
	30年	1,380	728	657	751	766	沖縄 1%
	5ヵ年平均	1,402	642	580	628	694	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,400	580	480	580	680	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>宮崎、高知、茨城などから入荷する。一部の産地では、11～12月の日照不足と成り疲れの影響で、月の半ばに入荷が減少する見込み。入荷量と天候次第では、安値基調の転機となるか。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に、平年をかなり下回る見込み。</p>
白菜	26年	8,381	110	113	110	108	北海道 69%
	27年	8,741	103	103	103	104	長崎 25%
	28年	7,660	128	112	122	140	鹿児島 6%
	29年	7,268	198	192	192	207	
	30年	7,390	123	117	123	125	
	5ヵ年平均	7,888	131	126	128	135	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	7,100	115	125	115	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>北海道と長崎、鹿児島の九州産地からの入荷となる。北海道は7月の天候不順により小玉傾向で入荷が少ないものの、九州の生育は順調で平年並の入荷となる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>
たまねぎ	26年	7,049	137	134	137	145	北海道 91%
	27年	9,360	100	92	98	111	静岡 4%
	28年	9,552	81	79	80	83	中国 4%
	29年	10,342	97	93	96	99	
	30年	9,520	107	101	103	115	
	5ヵ年平均	9,165	103	98	101	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	9,200	115	120	120	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は貯蔵量に懸念残るも、前年並の入荷量が確保される見込み。静岡も台風の影響から回復し、平年並の入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>

名古屋市中央卸売市場

12月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	7,810	353	419	321	338	青森 21%
	27年	8,192	370	418	345	356	フィリピン 15%
	28年	7,411	411	442	403	402	静岡 15%
	29年	8,115	372	425	338	366	愛知 12%
	30年	6,999	440	482	427	400	愛媛 8%
	5ヵ年平均	7,705	388	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
31年見通し	7,800	370	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、みかん、りんごなどが主な品目となる。10月以降の好天と暖冬により全体的に前進傾向。入荷の前倒しと今後の低温で、1月の入荷は落ち着くとみられるが、概ね平年並の数量となるか。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						
みかん	26年	2,557	212	227	206	207	静岡 57%
	27年	2,493	230	265	229	203	愛知 20%
	28年	2,203	313	312	309	321	和歌山 11%
	29年	3,057	239	264	215	259	愛媛 5%
	30年	1,833	401	425	425	360	広島 3%
	5ヵ年平均	2,429	269	289	265	263	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
31年見通し	2,600	260	280	250	260		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡、愛知が入荷の中心となる。前年は裏作や天候不順の影響で、静岡、愛知ともに入荷量が大幅に減少した。本年は9月の台風による傷果の発生等もあったが、入荷は順調で、価格も概ね平年並となるか。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。						
いちご	26年	654	1,386	1,579	1,257	1,323	愛知 54%
	27年	705	1,358	1,468	1,253	1,367	熊本 28%
	28年	560	1,479	1,421	1,382	1,641	鹿児島 6%
	29年	566	1,464	1,469	1,424	1,471	佐賀 3%
	30年	598	1,540	1,704	1,494	1,421	三重 2%
	5ヵ年平均	616	1,441	1,529	1,355	1,437	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
31年見通し	600	1,500	1,600	1,500	1,400		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、熊本を中心に入荷する。これまでの好天と暖冬で入荷は前進傾向。入荷時期の前倒しにより1月の数量は落ち着くが、2番果も安定した入荷が見込まれ、順調な入荷状況となるか。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	36,814	365	436	344	338	愛媛 18%
	27年	37,826	405	457	385	342	青森 16%
	28年	34,644	442	489	421	434	静岡 14%
	29年	36,736	427	493	402	415	和歌山 7%
	30年	31,100	507	610	481	476	フィリピン 6%
	5ヵ年平均	35,424	409	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
31年見通し	37,000	430	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>みかん中心にいちご、りんごなどが入荷する。かんきつ類のうち、伊予柑、ぽんかんといった露地物は台風等の影響で製品率が若干下がる見込み。りんごは例年より下位等級が多く、価格は前年を下回るか。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>						
み	26年	16,432	211	224	201	211	静岡 36%
	27年	16,163	249	257	247	244	愛媛 21%
	28年	13,080	314	294	312	328	長崎 14%
	29年	15,379	266	268	260	270	和歌山 12%
	30年	10,940	377	379	382	369	山口 5%
	5ヵ年平均	14,399	275	277	272	276	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
31年見通し	14,500	280	280	280	280		
かん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡を中心に長崎、愛媛などから入荷する。静岡は表年となり前年より量は潤沢。一方、前倒し出荷のほか、台風被害や暖冬傾向により果実が傷みやすいことで入荷量が減る産地もみられる。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回るも平年並の見込み。</p>						
いちご	26年	3,502	1,343	1,508	1,258	1,262	栃木 44%
	27年	3,824	1,385	1,481	1,279	1,388	福岡 18%
	28年	3,218	1,460	1,405	1,385	1,583	茨城 10%
	29年	3,779	1,458	1,459	1,448	1,466	静岡 9%
	30年	3,780	1,549	1,702	1,517	1,436	佐賀 6%
	5ヵ年平均	3,621	1,440	1,514	1,379	1,425	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
31年見通し	3,800	1,450	1,500	1,400	1,450		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>栃木を中心に、福岡、茨城などから入荷する。栃木は上旬から2番果が出始め中旬から増量する見込み。福岡では前進出荷の影響で1番果と2番果の間隔が開き、下旬からピークとなる可能性がある。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪 ぎ	実績	26年	1,790	47		
		27年	1,582	59		
		28年	1,649	50		
29年		1,629	53			
30年		1,576	53			
5ヶ年平均	1,645	53				
31年見通し	1,600	50				
概要	愛知、三重、沖縄から入荷する。冷え込みの影響もあり、上位等級は少なめと思われる。一般需要は多くないが、業務中心に上位等級は堅調に推移する。					
小 ぎ	実績	26年	973	21		
		27年	800	28		
		28年	972	25		
29年		927	21			
30年		614	35			
5ヶ年平均	857	25				
31年見通し	620	35				
概要	沖縄を中心に入荷する。台風の影響も一部残り、前半は上位等級を始め、入荷量は少なめで堅調に推移すると思われる。					
カー ネ ー シ ョ ン	実績	26年	960	35		
		27年	820	46		
		28年	840	36		
29年		802	40			
30年		746	45			
5ヶ年平均	834	40				
31年見通し	800	40				
概要	愛知を中心に和歌山、長野などから入荷する。30年は年内順調に出ており、1月も順調な見込み。また、前年は厳寒だったが冬場の冷え込みも比較的厳しくないので、小売りも安定した需要を見込む。					
か す み	実績	26年	174	79		
		27年	198	61		
		28年	138	63		
29年		171	65			
30年		174	70			
5ヶ年平均	171	68				
31年見通し	165	70				
概要	高知、和歌山、九州からの入荷となる。業務中心の販売と一般販売も成人式、愛妻の日を中心に春の花の添え花として下位等級の動きもある。入荷は例年よりやや少なく、相場はやや強めの動き。					

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	26年	266	204	
		27年	249	194	
		28年	250	174	
		29年	233	217	
		30年	209	326	
	5ヶ年平均	241	220		
31年見通し	220	250			
概要	<p>オリエンタルは高知、九州、埼玉、愛知からの入荷。1月は出荷少ない。鉄砲は高知、九州から入荷。入荷はさほど多くないが、業務中心の販売で価格は厳しい。LAは埼玉、高知から入荷。かなり少ない入荷となるが価格もさほど高くない。成人式、愛妻の日などでオリエンタルはやや動く。相場はやや高めの動きとなりそう。</p>				
洋らん	実績	26年	470	85	
		27年	459	82	
		28年	457	60	
		29年	461	71	
		30年	394	84	
	5ヶ年平均	448	76		
31年見通し	420	80			
概要	<p>高知、徳島、愛知、静岡の国産や輸入品などが入荷する。国産の洋らん系は10月の暑さの影響で若干遅れ気味で、ある程度潤沢な入荷となる。需要も少なく、厳しい市況となる見込み。</p>				
ばら	実績	26年	654	78	
		27年	548	83	
		28年	521	59	
		29年	567	74	
		30年	620	65	
	5ヶ年平均	582	72		
31年見通し	600	65			
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷する。成人式等のイベントもあるが、月を通しての引き合いは弱めと思われる。入荷量は多くも少なくもなく、平年並となる見込み。</p>				
枝も	実績	26年	1,433	45	
		27年	1,257	47	
		28年	1,193	43	
		29年	1,252	46	
		30年	1,226	48	
	5ヶ年平均	1,272	46		
31年見通し	1,250	46			
概要	<p>促成物を中心に入荷する。成人式の需要によりやや動くが、一般需要は少なく、低調かと思われる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
エ リ カ	実 績	26年	24,439	218	
		27年	20,863	191	
		28年	13,786	222	
		29年	13,351	220	
		30年	12,475	191	
	5ヶ年平均		16,983	208	
	31年見通し		12,500	184	
概要	<p>入荷量は前年並か。例年年明けより山梨、新潟からスズランエリカの出荷が始まるが、全体的に品薄になると予想。年初売りで引き合いが強いほかは、徐々に相場は厳しくなると思われる。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位新潟(52.8%)、2位山梨(47.2%)となっている。</p>				
プ リ ム ラ	実 績	26年	547,825	96	
		27年	492,187	92	
		28年	404,331	107	
		29年	486,315	93	
		30年	434,800	80	
	5ヶ年平均		473,092	94	
	31年見通し		430,000	81	
概要	<p>マラコイデス、ジュリアンの入荷量は前年並か。11~12月上旬の高い気温が年内開花を早めたため、出荷が前倒しとなり、1月は平年に比べて減少する見込み。プリムラ全般で同様の傾向があると考えられる。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(48.8%)、2位埼玉(13.7%)、3位栃木(7.3%)となっている。</p>				
チ ュー リ ッ プ	実 績	26年	70,026	180	
		27年	56,809	197	
		28年	55,348	233	
		29年	40,897	213	
		30年	31,700	224	
	5ヶ年平均		50,956	206	
	31年見通し		31,000	226	
概要	<p>主要生産者が作付を減らしているため、入荷量は前年よりわずかに減少するか。関東は4~5号、愛知県は4号サイズが中心で、その他のサイズは年々減少。価格面では前年と大きく変わらない見込みだが、年々注文が減少しているため、競売価格次第で変動する。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位埼玉(37.0%)、2位愛知(36.5%)、3位茨城(12.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	26年	56,662	288	
		27年	55,383	291	
		28年	49,642	254	
		29年	53,709	242	
		30年	42,745	249	
	5ヶ年平均		51,628	266	
	31年見通し		43,000	244	
概要	<p>入荷量は前年並か。例年通り6号は埼玉、5号は埼玉、愛知、三重、東北産地、4号は愛知、三重を中心に入荷する。価格面は年々厳しくなっており、さらに成人式需要も減少傾向にあるため、前年を下回ると予想される。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位埼玉(29.4%)、2位愛知(17.3%)、3位茨城(14.3%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	26年	46,545	201	
		27年	47,804	197	
		28年	36,992	192	
		29年	41,464	191	
		30年	35,941	179	
	5ヶ年平均		41,749	193	
	31年見通し		35,000	183	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少するか。商品のクオリティが上がっているため、注文単価は上昇が見込めるが、委託についてはここ数年と同じく低迷する傾向が強まる見込み。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位静岡(26.9%)、2位愛知(22.2%)、3位茨城(16.0%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	26年	22,422	782	
		27年	19,497	787	
		28年	17,750	728	
		29年	19,651	679	
		30年	20,267	584	
	5ヶ年平均		19,917	713	
	31年見通し		20,000	590	
概要	<p>入荷量は前年並か。12月の気温が高い影響で全体に花の進みが速い。また、2月より1月相場の方が安定しているため、出荷を前倒しする生産者もいる。秋の天候が比較的安定したため、出来栄は良い。荷は例年同様に固めの出荷をお願いしたい。売店は暖かく、すぐに満開となり消費が鈍くなりがちなので出荷には気をつけていただきたい。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(51.2%)、2位岡山(10.5%)、3位香川(7.9%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.547
平成31年1月発行
農林水産部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434